



今年も残すところ1週間。子どもたちが登校する日も今日で最後となりました。

1日1日の積み重ねを通して、また音楽会やふれあいハイキングなどの大きな行事や活動を通して、子どもたちは多くのことを学び、成長しました。

2学期の中で子どもたちにどんな力が身についたのかを振り返るとともに、次の学年を見据え、どんな力をつけるべきかを考え、3学期に臨みたいと思います。

今学期も、本校の教育にご理解、ご協力くださりどうもありがとうございました。来学期もよろしくお願いいたします。

11月・12月の学校生活より

11月25日(月)に低学年が、11月26日(火)に高学年が、「牛乳パック開きグランプリ」に参加しました。今年で3回目となる大会で、二宮小学校の恒例になりつつあります。給食委員会の子どもたちが中心となって企画・運営をしました。

ルールですが、1クラス5人で1チーム、1分間できれいに開いた枚数で競います。

学校では、給食を食べた後、子どもたちが牛乳パックをきれいに開き、それをていねいに洗ってから乾燥させ、リサイクルに出しています。日頃からきれいに開くことが習慣となっているのでしょうか、どのクラスの子もすばやくきれいに開くことができました。

また、たくさんの子が応援として参加し、熱気に包まれた大会となりました。



次は、二宮小学校伝統の「二小チャンピオン」(ドッジボール大会)。こちらは、体育委員会の子どもたちが企画し運営を行い、大変な盛り上がりの中、開催されました。この大会が近づくと、朝の時間や休み時間にクラスで練習する風景が至る所で見られます。クラスみんなで運動するきっかけになっているようです。

まずは低学年の部。学年ごとの対戦でした。1年生の優勝は3組、2年生の優勝も3組でした。1年生はまだドッジボールに慣れていないところもありますが、その中でも白熱した戦いが繰り広げられました。2年生は、大会に関わらず、朝の時間

や休み時間にドッジボールで汗を流す子どもも多く、いずれも迫



力のある好勝負となりました。

次に中学年の部。決勝に勝ち上がったのは3年2組と4年4組。お互いに一步も譲らない戦いの結果同点。同点の場合、下学年の勝利というルールから3年2組の優勝となりました。4年生も1学年上の意地を見せ、3年生も負けじと健闘する大会となりました。



高学年男子の部。決勝は、6年生が1学年上の力強さ・スピードを見せて勝ち上がり、6年1組対6年2組の戦いとなりました。こちらも中学年同様、大接戦が繰り広げられた結果、6年1組の勝利となりました。



大会の最終日を飾った高学年女子の部。6年生も最高学年としての戦いを演じましたが、決勝に勝ち上がったのは、5年1組と5年2組のともに5年生でした。結果は5年1組の勝利で大会の幕を閉じました。



夏休みに多くの子が努力した作品の表彰です。まずは、読書感想文の中郡表彰です。自由参加でしたが、がんばってチャレンジした子がおり、いずれも読後の感想がよく伝わる内容でした。



次に、二宮町の防火ポスターコンクールです。4年生から6年生までの全員が取り組みました。いずれの学年も力作ぞろいで、どの子も夏休みに力を入れて取り組んだことがわかりました。



最後は、全国児童画コンクールです。自由参加でしたが、多くの子が取り組みました。こちらも夏休みの思い出を中心に素敵な絵が揃っていました。



